

◆主要ニュース◆

●仮需要対策の心構えQ&A・京都府下の福知山組合と宮津組合の合併調印式・全国政治連盟に自民党総裁より感謝状……………2面

●万全の仮需要対策で売上げ確保へ・チェックポイント……………3面

●「リトルシガー」と「加熱式たばこ」の情報・新煙故知新⑩・「百害あって一利なし」言説の背景⑫……………5面

●東京都連合会調べによる「令和元年度東京都たばこ税納付見込み額」・江戸川柳とたばこ⑪・新商品と話題のたばこ……………6面

●たばこマンの岡目八目・おもしろクイズ・お便りコーナー……………7面

●店頭灰皿の設置とお店の事例紹介(徳島組合)・「たばこ屋さん目線」からの川柳・投稿・手作りPOP講座……………8面

全 国

たばこ

新 聞

2020年9月 September第893号

■発行元/全国たばこ販売協同組合連合会
〒105-0014 東京都港区芝1丁目6番10号
芝SIAビル7階 TEL.03(5476)7551

■企画編集責任/株式会社アーネスト
〒105-0004 東京都港区新橋6-2-1
木村ビル801 TEL.03(3432)8346

組合員のみなさまへ

たばこ税の「手持品課税」について

申告・納付の手続きの期限厳守を

たばこ税関係法令の改正に伴い、令和2年10月1日(木)午前零時現在において、販売用のたばこを2万本以上所持するたばこ販売業者に対して、たばこ税の「手持品課税」が行われます。なお、所持するたばこが2万本未満の場合は、申告・納付は不要です(参考:2万本=1000箱=100カートン)。

加熱式たばこの紙巻たばこの本数への換算について

加熱式たばこの紙巻たばこの本数への換算方法は非常に複雑になっていることから、手持品課税における加熱式たばこの紙巻たばこへの換算にあたっては、「加熱式たばこの簡易換算表」(国税庁ホームページに令和2年9月掲載予定)により、本数に換算して差し支えありません。

葉巻たばこの紙巻たばこの本数への換算について

今回の手持品課税から葉巻たばこの換算方法が変更になっております。具体的には、1本あたりの重量が0.7g未満の軽量の葉巻たばこについては、1本につき紙巻たばこ0.7本として換算することになりました。なお、軽量の葉巻たばこ以外の葉巻たばこについては、従来どおり、重量1gにつき紙巻たばこ1本として換算します。

葉巻たばこの紙巻たばこへの換算にあたっては、「主な葉巻たばこの簡易換算表」(国税庁ホームページに令和2年8月以降の掲載予定)もご利用ください。

申告書の提出期限は令和2年11月2日

対象となるたばこ販売業者は、令和2年11月2日(月)までに、「たばこ税等の手持品課税納税申告書」を作成の上、所轄税務署に提出してください(提出期限を過ぎて申告しますと、加算税または加算金が課される場合がありますので、期限内に申告するよう十分に注意してください)。

納期限は令和3年3月31日

たばこ税の納期限は、令和3年3月31日(水)です。申告書を提出してから納期限まで約5か月間ありますので、納付を忘れないように注意してください。

手持品課税についてのお問い合わせは、最寄りの税務署、または都道府県税務課・県税事務所、市区町村税務課までお尋ねください。国税庁ホームページ、総務省ホームページ(別記アドレス参照)にも、手持品課税に関する情報が掲載されます。

●国税庁ホームページ 「令和2年10月 たばこ税手持品課税」で検索ください。

●総務省ホームページ www.soumu.go.jp

主な紙巻・リトルシガーの改定価格

主な紙巻たばこ(20本入り)		現行価格	改定価格
J T	メビウス(31銘柄)	490円	540円
	セブンスター	510円	560円
	ナチュラル アメリカン スピリット	530円	570円
	ピアニッシモ	490円	540円
	ウinston	450円	500円
	キャメル	400円	450円
	ハイライト	450円	490円
ホープ(10本入り)		260円	280円
B A T J	ケント 15銘柄	460円	500円
	” 4銘柄	450円	490円
	” 11銘柄	440円	480円
	クール 11銘柄	490円	530円
	ラッキー・ストライク・エキスパート	400円	430円
リトルシガー(20本入り)		現行価格	改定価格
J T	キャメル・シガー 3銘柄	330円	380円
	” 8銘柄	360円	400円
	わかば・シガー	360円	410円
	エコー・シガー	350円	400円
	ゴールドデンバット・シガー(北海道限定販売)	280円	370円
B A T J	ケント・リーフ	400円	450円
	クール・ループド	360円	400円
	ラッキー・ストライク・シガリロ 2銘柄	360円	400円
	” 3銘柄	340円	400円

たばこ税増税分は1本当たり1円(20本入り20円)だが、各社とも概ね、増税分は、その理由について「たばこ税増税、加熱式たばこ及び軽量の葉巻たばこ(リトルシガー)の課税方式の変更により、今後のコスト上昇を踏まえ、各銘柄の品質を維持するため一部銘柄を除き増税分以上の改定を行う」としている。

小売定価改定は、紙巻たばこ136銘柄、パイプ3銘柄、葉巻16銘柄、加熱式たばこ48銘柄の計224銘柄である(後日発売予定の新製品、在庫売り尽くしで販売終了する廃止銘柄などを含む)。紙巻たばこ136銘柄のうち、廃止18銘柄と20本包装以外の17銘柄を除くと、定価500円未満が6銘柄、500円以上は95銘柄にものぼる。

20本入り紙巻たばこの主な銘柄別の新価格をみると、主として50円の値上げとなっている。「メビウス」では31銘柄が50円アップの540円だが、スーパースリムロングシリズ9銘柄だけが10円アップの500円と値上げ幅が異なる。「セブンスター」7銘柄が560円、「ウinston」は16銘柄が500円、「キャメル」3銘柄は450円など。

リトルシガーの「キャメル」では40円アップの400円が8銘柄、50円アップの380円が3銘柄、また、旧3級品シガー・ブランドが50円と90円

の値上げである。

加熱式たばこ専用たばこは、「メビウス・ブルーム・テックプラス専用」が50円アップの550円、「メビウス・ブルーム・テック専用」と「メビウス・ブルーム・エス用」が50円アップの540円、「キャメル・ブルーム・エス用」が40円アップの500円である。

一方、BATJの紙巻たばこ57銘柄のうち、40円値上げが52銘柄を占める。改定価格では、30円アップの430円が5銘柄のみ。40円アップは480円が11銘柄、490円が4銘柄、500円が15銘柄、520円が1銘柄、530円が11銘柄、540円が3銘柄、560円が7銘柄で、500円以上の銘柄は現行の10銘柄から37銘柄となる。

リトルシガーでは、「ケント」3銘柄が50円アップの450円、「クール」4銘柄が40円アップの400円、「ラッキー・ストライク・シガリロ」は2銘柄が40円アップ、3銘柄が60円アップで、それぞれ400円だ。なお、加熱式たばこ専用たばこについては未発表。

10月に2年ぶりのたばこ税増税に伴う定価改定

来る10月1日のたばこ税増税は、2018年10月1日以来2年ぶりの実施となる。昨年の2019年10月1日の消費税率引き上げを含めると今年で3年連続の増税となる。税率は1本当たり1円の増税である。たばこメーカー各社は増税に伴うたばこの小売定価改定の認可申請を財務大臣に行っており、JTは8月19日に、BATJは8月7日に財務大臣の認可を受けた。2社の値上げ幅は紙巻たばこ主力銘柄で50円、40円の値上げが大勢を占める。これにより「1箱500円以上時代」が本格的に到来することとなる。なお、PMJの価格改定は8月20日現在で未発表である(定価改定関連記事2、3、8面)。

主力銘柄の値上げ幅は50円、40円